

総合地球環境学研究所・研究プロジェクト 「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上」 環境班セミナー

概要

フィリピン・ビサヤ諸島、パナイ島北部のバタン湾では、定置網、刺し網、カゴ網などを用いた漁、ミルクフィッシュの養殖など、漁業が盛んです。一方で、過去の養殖開発により、多くのマングローブ林が養殖池へと転用された場所でもあります。本セミナーでは、このバタン湾における現在の漁場環境について、マングローブや現地で捕獲された魚の栄養段階など、これまでの調査結果をもとに、研究プロジェクトの環境班のメンバーを中心に、さまざまな視点から意見交換を行います。

予定

2013年7月13日（土曜日）

場所： 大阪研修センター

（大阪市淀川区十三本町1-12-15 阪急「十三駅」から徒歩3分）

【第一部：フィリピン・バタン湾の研究について】

13:00-13:15 バタン湾調査の概況《吉川尚・東海大》

13:15-13:25 バタン湾調査の現状《岡本侑樹・地球研》

13:25-13:45 バタン湾の水環境とCN同位体による食物網について《岡本侑樹・地球研》

13:45-14:05 バタン湾周辺の陸上植物のCN同位体比《小川裕也・京都大》

14:05-14:25 バタン湾の化学物質の研究について《小山次朗・鹿児島大》

14:25-14:45 バタン湾のCN同位体を用いたマイクロハビタット研究の計画《池島耕・高知大》

14:45-15:00 バタン湾のマングローブ衰退と再生の計画《神崎護・京都大》

15:00-15:10 休憩

【第二部：タイ・バンドン湾の研究と環境班の活動について】

15:10-15:20 バンドン湾調査の概況《吉川尚・東海大》

15:20-15:40 バンドン湾の水質・基礎生産について《富澤宏介・東京大》

15:40-16:00 バンドン湾の水環境とCN同位体による食物網について《岡本侑樹・地球研》

16:00-17:00 総合討論（今後の研究計画、特にマイクロハビタットについて）

【第三部】

17:30- 懇親会

2013年7月14日（日曜日）

08:00-10:00 環境班メンバー内部打ち合わせ

お問い合わせ先
総合地球環境学研究所
研究部 第6研究室
岡本侑樹
yuuki.okamoto@chikyu.ac.jp